

令和2年度「GKP広報大賞」エントリーシート

エントリーする団体名の名称 松山市		担当者：鶴原 勇気 所属：下水道部下水道政策課 電話：089-948-6533 Fax：089-934-5862 E-Mail：gesuiseisaku@city.matsuyama.ehime.jp
代表者氏名 松山市長 野志 克仁		
部門名 行政部門	事例名 大学生による災害用マンホールトイレPR大作戦！	
事例の概要（適宜、写真、図、記事の画像等を挿入して下さい） 本市では、大学生との協働による下水道広報を、平成28年度から実質的な予算ゼロで実施しています。この取り組みは、 <u>毎年度テーマを設け、学生が自ら考え、手を動かす</u> もので、令和元年度は、「災害用マンホールトイレ」にスポットを当て取り組みました。※平成28年度：下水道広報アイデア提案会、平成30年度：市広報折込誌作成（4コマ漫画制作など） この取り組みは、広報戦略に加え、学生が行政の取組みに中長期間携わる中で、行政の業務を学び、考え、行動し、成果を挙げるまでの一連のプロセスを経験できるため、 <u>雇用ギャップの解消と就職活動でのアピールに役立ちます</u> 。		
<p>（令和元年度取組みのフローと内容）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①大学担当者に主旨説明及び学生募集依頼【R1.6】 ②顔合わせ・下水道事業の説明【R1.7】 ③下水浄化センター施設見学【R1.9】 ④マンホールトイレ設置訓練参加【R1.11】 ⑤マンホールトイレ設置マニュアルの作成【R2.1】 ⑥市テレビ広報の撮影・放映【R2.3】 ⑦マンホールトイレ設置マニュアルの配布【R2.3】 		
		
<p>✓PR作戦 マンホールトイレ設置マニュアルの作成</p> 設置マニュアルは、写真撮影・データ作成・修正作業など、学生主体で行い、読み易く、理解し易い内容や体裁にしました。作成したマニュアルは、市テレビ広報でも学生がPRしました。		
<p>✓PR作戦 市テレビ広報の撮影・放映（YouTubeで視聴可能）</p> 市テレビ広報は、マンホールトイレの役割や大切に加え、学生も出演し、マンホールトイレを設置する様子や設置マニュアルの紹介を通して、官学連携の取組みも市民にPRしました。		
<p>✓PR作戦 マンホールトイレ設置マニュアルの配布</p> 作成したマニュアルが適切に保管・活用されるよう印象深いものとするため、マンホールトイレが設置された小中学校に学生自ら訪問し配布を行いました。訪問先では、偶然、恩師と再会するという心温まる場面もありました。		
エントリー事例の特徴		
<p>●自分が知りたいことを学生自ら調べ、伝えることで、市民により響く。</p> 行政が伝えたい情報（＝市民に知ってほしい）は、市民が知りたい情報とは限らず、見過ごされがちです。この取り組みは、市民目線に近く、柔軟な発想を持つ学生に、行政側に立ってもらい、市民・行政双方の立場で広報すべき内容と方法を考えてもらいます。		
<p>●学生らしさを活かした柔軟性の高い取組みにチャレンジできる。</p> この取り組みは、学生の力を借りることで、型にはまらない取組みにチャレンジできます。行政としての節度とのバランスが難しいですが、市民目線を大切に、市民の目に止まる広報を展開できます。		
付属資料の提出	あり ・ なし （どちらかに○）	